

第一回全国俳句大会 支部別全投句作品一覧

北海道支部				支部名
		入賞		受賞
ぐい呑みはそつと置くべしちちろ鳴く	昼寝覚め仏間の畳こち良し	遠雷の音虚ろに聞へし昼寝かな	小雀の砂浴び蹴散らす蕪の種	投句作品
佐藤 英介	佐藤 英介	佐々木 浩	佐々木 浩	会員氏名

東北支部							支部名	
					入賞		受賞	
七輪の上で泳ぐや釣りし鮎	子規思い嗜好の西瓜共に喰い	山畑や風入む小屋に昼寝する	若衆の毛槍天つく日の盛り	片蔭へ磴百段の一步かな	道端に手書き看板西瓜売り	落慶の寺の廻廊月涼し	晩学の詰めて忘るる昼寝かな	投句作品
畠山 廣	畠山 廣	陶山 芳子	陶山 芳子	小山 昭雄	小山 昭雄	石黒 秀雄	石黒 秀雄	会員氏名

関東支部														支部名
		優秀賞								入賞	会長賞			受賞
梅池の リフトに 風や吾亦 紅	等分に 西瓜割ら れるおや つかな	道の 駅孫の重 さの西瓜 買う	園児ら の挨拶受 ける案山 子いて	昼寝す る幼子笑 顔なに夢 む	喜寿き きたる余 生の道は 臙なり	水彩画 不出来を 前にまた 昼寝	網戸か ら予防の 声と百日 紅	海光の 中の帆柱 夏の空	父母の 思ひ出ば なし西瓜 食む	旧居消 ゆ西瓜冷 せし井戸 もまた	八月や あの日照 和を真つ 二つ	黙々と 草筆る手 に朝の露	まだ来 ぬか西瓜 冷して孫 を待つ	投句作 品
水口 尊江	水口 尊江	増田 信	増田 信	野崎 正治	野崎 正治	中根 三郎	中根 三郎	片岡 啓子	片岡 啓子	尾張 幹	尾張 幹	大庭 英雄	大庭 英雄	会員氏 名

中部支部														支部名
優秀賞		入賞				入賞	入賞	入賞	優秀賞				入賞	受賞
向日葵の迷路でさがす逝きし母	臥せる母西瓜ひと口おいしいと	次の間も開け放しおく昼寝かな	雪溪を独り占めして露天風呂	西瓜切る母の手元や分度器	分けてやる雑煮や干支にない猫に	日盛りや僧侶の飛ばすオートバイ	二十分昼寝の中の宇宙旅	能登の土つけて箱詰め夏野菜	兜虫田舎の山河元氣かな	漂うて誰が操る花筏	夫婦愛西瓜と糖度比較っこ	初西瓜女母とおでこ合せ喰む	生あるを尽くして鳴けり秋の蟬	投句作品
山本 正己	山本 正己	柳澤 寿重	柳澤 寿重	宮内 昭三	宮内 昭三	平川 晴代	平川 晴代	千田 雅俊	千田 雅俊	熊谷 詔男	熊谷 詔男	大内 信	大内 信	会員氏名

関西支部													支部名	
													受賞	
はしやく子ら頃合い西瓜覗きだし	若き日の六根清浄富士登山	爺ひとり薄切りスイカ喰らう午後	上期見え現役OB類ゆるむ	古希迎え昼寝も日課に加わりぬ	春盛り花粉の舞いが惜しまれる	文添へて友より西瓜盃蘭盆会へ	紫陽花や友に供えて三回忌	かぶと虫捕えた自慢忘れない	思い出す昔懐かし西瓜割	庭西瓜優がつくかな夏の空	縁側で夢うつつの蝉しぐれ	雨の音太鼓も今も昼寝かな	ナイターやぎゆうぎゆう詰めの勝利感	投句作品
山本 彬	山本 彬	山地 重行	山地 重行	栞田 弘明	栞田 弘明	二宮 健	二宮 健	西端 廣亮	西端 廣亮	菊蔦 孝一	菊蔦 孝一	采野久美子	采野久美子	会員氏名

中国四国支部										支部名
										受賞
宅配便チャップリンになる昼寝かな	錆び猫や蹴りも入れるぞ猫じゃらし	花山葵雨に打たれて水温む	手応えに慌て紐取る西瓜割り	夏去りて昼寝の彼方孫の笑	古希の埤超えて燃えるぞ晩夏路	赤いかなポントたたいて西瓜とる	クーラーで猫と幸せ昼寝する	孫台風去りてこれから秋台風	網をけるスイカの蔓に孫想い	投句作品
榊井 敏彦	榊井 敏彦	津田 隆司	津田 隆司	田中 幹生	田中 幹生	川上 康登	川上 康登	井上 啓史	井上 啓史	会員氏名

九州支部											支部名
											受賞
水害の荒れ地に立ちて手を合わす	浜辺にて遊ぶ姿の見張り役	竹すだれゆらぐ日陰の昼寝猫	蝉しぐれせかされ朝の散歩かな	赤い西瓜黒をはじいて口に入れ	草取りはゴールが見えない庭遊び	寝入っても昼寝と同じ時間制	孫の顔五度の西瓜にプールでも	ドヤ顔のスイカ見下ろす盆提灯	動かぬとねじ探す手にカブト虫	里帰り孫の賑わいかぶと虫	投句作品
渡邊 保雄	渡邊 保雄	山崎 巖	山崎 巖	宮本 盛雄	宮本 盛雄	宮原 敬介	宮原 敬介	上野千枝子	上野千枝子	岩佐 隆司	会員氏名